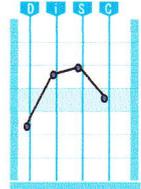




対立状況での行動

たいていの方は、対立や葛藤のある状況で、自分の自然な行動傾向に基づいて、「闘争」か「逃走」のいずれかの行動をとるものです。また、その状況のリスクの度合いに応じて、この両方の行動をとる人もいます。以下では、**たいてい**さんが対立や葛藤の生じた状況でとられると思われる行動の範囲を示します。これらの行動は鈴木さんの価値観や経験によって変化するものです。この結果を**たいてい**さん自身と見直し、行動する可能性の高いものから低いものまでランクをつけてみるとよいでしょう。



カウンセラー

対立状況において**たいてい**さんは：

- 対人関係での攻撃性を嫌う傾向がある
- 誰にでも受け入れられるような解決策を探そうとする
- 問題を解決することよりも、人との和を大切にして多数意見に従う
- 興奮している人を落ち着かせようとする
- 静かで、控え目になるかもしれない
- 対立に対してなす術がなく、無力感を味わうかもしれない
- 公然とした、直接の対立を嫌う傾向がある
- 感情的になる傾向がある
- 個人攻撃をするようになるかもしれない
- 否定的な情報を軽視する傾向がある
- 問題点に触れずに、怒っている人をなだめようとする
- 体裁が悪くなったり、評判が落ちるのを避けるために譲歩する
- 衝動的になる